

9月18日「第4回SDGs講演会」が、本校視聴覚教室で実施されました。



今年度からスタートした山田高校 SDGs 探究活動の報告です。
第4回 SDGs 講演会が、1年生の総合的な探究の時間（9/18）の中で開催されました。
テーマは、『SDGs と人権』 ～ヒューライツ大阪の取り組み～
講師は、一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター特任研究員 松岡 秀紀 氏 です。

●講師 一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター

特任研究員 松岡 秀紀 氏のメッセージ

「2030 アジェンダ」は日本語では 37 ページに及ぶ文書です。SDGs 17 の目標はその 37 ページ中 15 ページ分だけを占めています。SDGs の研究発表をする際は全ページに目を通しておくことをお勧めしますが、SDGs 以外の記述部分で特に前半部分に非常に重要なこと、基本理念や人権のことがたくさん書かれています。… 人権を尊重するとは、一言で言うと「人を大切にすること、そして自分も他者も大切にすること」と言えます。今の社会を少しでもいい社会にしようとして作られたのが人権という考え方です。したがって、これはずっと守っていく必要があります。皆さんも私も守って次の世代に伝えていかないといけないのです。

●講演後の生徒発表の様子（9/25）



●生徒のレポートより抜粋

- ・今回の講演を聞いて、企業が取り組んでいることに対して、自分たちも参加する方法を知ることができた。今回の DARS の取り組みでは、自分たちがチョコを買うということだけで、アフリカの子どもたちの支援になるというもの協力がしやすいと思うし、そういう取り組みがもっと増えていけばいいなと思った。
- ・世界人権宣言の文を初めてしっかり読んで、誰とでも好きな人と結婚してもよいことや、教育を受ける権利について書かれていたのを見て、日本では当たり前のことが、世界人権宣言に書かれるほど、他の国では当たり前ではないのだなと思った。
- ・児童労働問題をなくすには、まず貧困に終止符を打たねばならない。他の問題でも貧困をなくすことは解決に繋がる重要なことだと思う。子どもたちにも当たり前に人権があるのに、それが守られていないのが現状だ。人権の意味を考えるのは難しかった。でも、嫌いな人はいても、違うところを認め合うことがすごく大切だと思えたとし、認め合うことを実践していきたい。
- ・発展途上国では経済的問題から児童労働が行われており、特にカカオ農園は貧しい場合が多いため、企業がフェアトレード商品を作っている。このことは広く知られた話だと思うが、なぜカカオ農家が貧しいのかを考えることはあまりないと思う。なぜかを考えることが問題解決につながるので、周りのことについて「なぜ？」と考え続けるようにしたいと思った。また、考えることは原因を知るだけでなく、「なんとなくの他人事」を「自分事」に変えるのではないかと思う。そうすると身近な問題として真剣に一人一人が考えるので、行動する人も増え、問題解決に近づくと思う。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



(*) SDGs とは、2015 年国連で決めた、人類が達成すべき 17 個の目標のことで、Sustainable Development Goals の略です。